

# 国際ロータリー第 2680 地区 第2回青少年交換小委員会 議 事 録

開催日時 2020 年 9 月 19 日(土) 14:00~15:30

開催場所 ZOOM 会議

議事録作成人 三木 健義

## 次 第

### 1. 開 会

### 2. 挨拶

#### ガバナー 高瀬 英夫<要旨>

公式訪問もほぼ半分 34 か所目となり、ガバナーの仕事として訪問で得た情報の発信をしたいと考えています。

情報共有についても、縦割りではなく横の連絡をしっかりしていく方向で、9 月 25 日にガバナー補佐会議を ZOOM にて行い、10 月 25 日には地区委員長の連絡会も行い、2 月の地区チーム研修の時とは情勢が変わっていますのでしっかりと対応していきたいと思っています。

また、米山記念奨学会の事業として、10 月に例年奨学生の卓話がありますが、新型コロナの影響で自粛することとなり、その代わりに奨学生の皆さんに 3 分間ビデオメッセージの提出をお願いし、編集してすべてのクラブ及びホームページにもアップするというので、この状況を活かしより多くの人にメッセージを伝える方向に転換されたということもお伝えしたいと思います。

#### 国際奉仕委員長 武田 寿子<要旨>

こんにちは。連休前のお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。現状では未だ新型コロナウイルスによる世界的情勢が好転していませんが、この局面でできることはないか、今期はどのように進めていくか皆さんのお知恵を出して進めていくことをお願い致します。

#### 青少年交換小委員長 三木 健義<要旨>

4 連休の初日に時間をとっていただきありがとうございます。

10 月は、来年の交換に向けての具体的活動開始という変化の月になり、今月はそれに対していろいろ考え準備する月です。私自身経験がなくわからないことも多いですので、皆さんのお知恵を借りて進めていきたいと思えます。方向性としては、来年 7 月から実際の交換を実施する前提で、方針・枠組みを作って体制を整えていきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

### 3. 出席者(敬称略)

高瀬 英夫、滝澤 功治、吉岡 博忠、白井 良夫、武田 寿子、安行 英文、三木 健義、  
審良 和哉、谷ノ口 義弘、坂東 隆弘、中院 達也、伊藤 幸美、堤 健二郎、阪田 真也、  
小倉 克輝、白井 務子  
(学友)木下 茉莉華、安川 知里、根本 心音、藤本 真理絵、阪田 英里奈、中井 琴音  
(22名)

### 6 審議事項及び協議事項

#### ①審議内容及び協議内容 ②意見 ③費用(特になし)④結論(太字)

#### (1)2021-22 年度長期青少年交換派遣生募集要項について

<三木健義小委員長より説明>

#### ・パンフレットについて

<説明>

パンフレットについては、矢野年度に作成されており、今回は募集期間が短く限定的になる可能性もあり更新しませんが、次年度以降連絡先などの内容を見直し更新する予定です。

#### ・学校向け募集案内

<説明>

今回は、新型コロナウイルスによりできない可能性もある部分を追加して案内を作成しました。

・**応募・プログラム・費用・ロータリーの役割について**

＜説明＞

募集条件の中に、新型コロナウイルス再流行の場合の途中帰国要請の文言を追加し、日程を今年度に合わせました。

【青少年交換学友活動への参加義務の明記】

→募集条件に帰国後青少年交換学友会活動に参加という条件追加の意見がありました。

→この時点で追加すると、青少年交換学友会の説明も必要となり、また面接でも必要なことを説明するので入れないほうが良いという意見もありました。

→詳細規則の中に明記しているのでここでは記載しないという説明がありました。

【プログラム途中中止の費用負担について】

→費用について、途中中止の時の費用分担を入れるべきではないかという意見がありました。

→詳細規則の中に明記しているという説明がありました。

・**派遣生規則及び同意書**

【プログラム途中中止の費用負担について】

→プログラム中止の時の追加費用は、主に航空機費用なので、かっこ書きで明確にしてはどうかという意見がありました。

→タクシーなど飛行機以外の交通費で問題になったケースもあり、追加交通費としてはいかがかという意見がありました。

→帰宅するまでに要する追加交通費という文言にすればどうかという意見がありその方向で修正するという説明がありました。

→青少年交換学友への入会について明記してあるので、まず目にする募集案内にもやはり入れたほうが良いのではという意見がありました。

→規則および同意書の配付時期もあり検討課題とする説明がありました。

【プログラムの最終権限者について】

→同意書下部のホストロータリークラブと地区に最終権限はガバナーに最終権限と訂正したほうが良いのではないかという意見がありました。

→ホスト地区ガバナーに最終権限という表記に変更するという説明がありました。

・**応募申請用紙**

【PCR 検査実施の確認について】

→PCR 検査等はいれなくてもよいのかどうかという確認意見がありました。

→他の予防接種と同様派遣先で決定される面もあり、その他のものと一緒に対応すると説明がありました。

【青少年交換学友会活動参加意思確認について】

→応募申請用紙に、青少年交換活動参加意思の確認を入れてはどうかという意見がありました。

→学友より、自分が応募した時は、その後の活動も参加したいという思いもあり、義務という表現ではないほうが良いという意見がありました。

→帰国後青少年交換学友会参加など、どのように活動したいかという表現を追加する方向で修正すると説明がありました。

・**学校推薦書**

・**スポンサークラブ参加意思確認書**

＜説明＞

これは浅木年度より追加になっている分です。

【第一ホストファミリー・カウンセラー記載について】

→応募時カウンセラーは決まるが、第一ホストファミリーは決まらないので適当に記載し問題になることもあり、選任できるかどうかの問いのみで良いのではという意見がありました。

→第一ホストファミリーの記載欄を削除すると説明がありました。

【最終権限者のガバナーの指示に従うという誓約について】

→この書類にも、途中帰国が指示されたときは、ホスト地区ガバナーの指示に従うという文を入れてはどうかという意見がありました。

→文章を考慮して追加すると説明がありました。

【学友会活動必要金額記載について】

→学友会活動について、入会金、年会費の金額面も記載してはどうかという意見がありました。

→規則に記載し、青少年交換学友会規則に準じてという表現を追加するという説明がありました。

【2020-21 年度派遣候補生の書類提出について】

→当初 2020-21 年度派遣候補生に対して、2021-22 年度再度応募用紙等の提出の必要性について質問があり、様式も修正があり手間になりましたが再度提出をお願いする形にしたいという説明がありました。

(2) 帰国生報告書作成作業について

＜三木健義青少年交換小委員長より説明＞

→今後の進め方はどうするかという質問があり、ガバナー事務所と、白井直前委員長に届いている分を三木小委員長が集積し、青少年交換学友会と協力して取りまとめるという方向で進めることとなりました。

→帰国報告書について、2019-20 年度作成をまとめて、その前年度もできるようにであれば作成をしたいと思います。

・帰国報告書様式について

→記載の難易というよりは、どのような情報を残すべきかを明確にして、作り上げる方が良いという意見があり、また作成しながら随時修正していつはどうかという意見がありました。

(3) 今後のスケジュールについて(10 月委員会での協議予定事項)

＜三木健義小委員長より説明＞

10 月 11 日(日)にポートピアホテルにて会合を開き、今後の募集・面接方法及び 12 月のクリスマス会について討議を行いたいという説明がありました。

→10 月 11 日の委員会後の募集では間に合わないの、10 月初旬には募集開始をしなければならず、出し先についての質問がありました。

→以前から交換を実施したいというクラブもあり、クラブにも知らせる必要があるのではという意見もありました。

→三木小委員長、阪田副委員長、白井前委員長と打ち合わせし、募集案内方法、出し先について決定し進めるという説明がありました。

→名古屋の地区ではインターアクトクラブ向けの募集を行っており、インターアクトクラブのメンバーが交換に参加したいので、積極的な活動を行い、また帰国報告会の実施で、憧れからさらに活動が積極的になるという好循環があるという報告があり、ぜひ青少年交換の部分をも他の青少年奉仕活動と一体的に実施できるよう組織を組む場合に考慮して欲しいという要望がありました。

5. 報告事項

(1) 8 月 23 日(日)長期派遣生帰国報告会報告

＜三木健義小委員長より写真を提示して報告＞

会場参加 58 名、ZOOM 参加 13 名で実施できました。

青少年交換学友会勉強会報告

＜木下会長より報告＞

当日午前中に ZOOM にて、ロータリークラブと青少年交換学友会の位置づけ、どのような気持ちで活動すべきか勉強会を行いました。今後も継続していきたいと思います。

(2) 状況報告

＜三木健義小委員長より報告＞

・外務省出入国レベルに関して

外務省海外安全情報にて、8 月 26 日更新され現在継続中の情報では、過去の交換国がレベル3(渡航中止勧告)の状況になっています。

・3131 地区よりのバーチャル交換について

インド 3131 地区より、バーチャル青少年交換のお誘いがありました。

お二人からのご案内があり、一人は武田委員長と面識があり武田委員長経由でのご案内もありました。

→費用がかからないというメリットは確かにあるし、新型コロナウイルス蔓延の状況ではこういった代替案も有効だと思われます。

- 実際の交換に比べると得られるものが若干すくなくなるのではないのでしょうか。
- 3131 地区の担当者も積極的に活動しようとした結果のアイデアであり、効果は実施してみないとわからない側面もあるが、高校生対象としては少し難易度が高く効果が限られると思われます。
- 学友会のメンバーからは興味があるというようなお話もありました。

**【表記の意見を踏まえ、相手先に返信を行う予定とします】**

**・YESS オンライン研修会について**

秋口に YESS のオンライン研修開催を前提としたアンケート調査があり、研修会が開催される可能性があります。

**・台湾より RYJYEM 宛の短期・長期交換のお誘いメールについて**

台湾より日本 34 地区に対して交換の依頼がありました。

**・ブラジルクリチーバ 4730 地区よりのメールについて**

3 月頃に申請書を送りましたが、2680 地区の 3 月頃の予定に変更はないかどうかの確認がメールできました。

→白井前小委員長より、ベルギーとの交換の話の中で、サンパウロから受け入れを行う申請書は受け取って、三田 RC へ送信しましたが、クリチバについては受け取っていません。発信者は現在のガバナーで次年度は青少年交換担当に戻ると考えられます。

**【ガバナー事務所に事実関係を確認し、申請書受け取りについての認識のすり合わせと、2680 地区としては 2021 年 1 月からの交換実施は考えていないこと、および現状では 2021 年 7 月以降の交換実施に備えて活動していることを伝えることとした。】**

**・9 月 24 日午前 2 時「危機管理計画」バーチャルセミナー案内**

RI 青少年交換担当部より、バーチャルセミナーの登録案内が来て、近藤真道さんのセミナーもあるようです。後日録画へのリンクも送られるようですので、私のほうで登録して後日内容をお伝えします。

**・青少年交換学友会 委員会出席交通費について**

青少年交換学友会の活動について、地区外の場合は奉仕プロジェクト特別会計への申請を行い、地区内の交通費等は行事以降に申請し地区委員会費用で賄うようになりました。

→武田委員長より、8 月 23 日の帰国報告会の費用について申請があり、承認しガバナー事務所に提出したこと、および学友の根本さんより入金があったことの報告がありました。

**・坂東社会奉仕副委員長よりの報告及び依頼**

12 月 6 日(日)当初研修デーが実施予定でしたが、中止となり、その日を利用して、社会奉仕委員会が研修会を開催予定としているとう説明がありました。

青少年交換小委員会にも、帰国生スピーチなどの説明も考えていますので、日程確保の依頼がありました。

6. 総 評

**吉岡 博忠 ガバナーエレクト<要旨>**

提案のあった青少年関係の事業を次年度整理していきたいと考えています。

8 月 4 日に、次年度 RI 会長との ZOOM 会議があり、滝澤 PG も出席されました。

私は体調の関係もあり途中退席しましたが、聞くところによると、現在の RI 会長ホルガー・クナーク氏(ドイツ)は会員増強について、クラブにあった規模、クラブにあった人選が基本という話をされていましたが、次年度のインドから RI 会長に選出されている方は、拡大方針ということのようです。ちなみにその次の年の RI 会長はカナダの活動的な女性が指名されたようです。

青少年交換の募集についても、周知の方法、本人までどのように伝えるかはやはりクラブが基本で、中には情報を受け取る中でホストファミリーを経験したいという話も出てきたりしておりますので、クラブに広く周知し、学校に丁寧に説明をする方向でご検討いただければと思います。

7. 次回開催日時・場所

日時:10 月 11 日(日)13:30~(予定) 場所:ホートピアホテル 4 階パールの間

8. 閉 会

※議事録をホームページの「委員会活動」にアップします。